|  |
| --- |
| オンライン素形材技術セミナー |
| **「鋳型・鋳物砂の今（現状とこれから）」**  ～鋳物砂の現状とこれからの鋳型の方向性を考える～ |
| **ご　　案　　内** |

主催　：　一般財団法人　素形材センター

わが国の素形材産業は様々な技術革新が行われており、基盤産業として著しい発展を遂げて参りました｡しかしながら、わが国経済は従来とは異なる抜本的な変革を求められており、素形材産業もさらに競争力強化を図ることが重要と考えられます｡

このような状況のもと、鋳造業の一層の技術力向上のため、下記プログラムによるセミナーを企画いたしました｡つきましては、ご多忙中とは存じますが多数ご参加下さいますよう、ご案内申し上げます｡

●**日　時**　　令和3年8月25日(水) 　13：00～16：50

　　　　　　令和3年8月26日(木) 　13：00～16：40

　　　　　　オンラインセミナー（Cisco Webex Meetingsを使用）

●**プログラム**

|  |  |
| --- | --- |
| 令和3年8月25日(水) | |
| １．開会の辞 13:00～13:10 | |
| (公社)日本鋳造工学会 事務局長　佐藤　和則 | |
| ２．生型とベントナイトの特性 13:10～14:10  ベントナイトは、モンモリロナイトを主成分とする粘土である。ベントナイトの特性は、モンモリロナイトの特性が現れたものである。生型の特性をベントナイトの特性で説明する。 | |
| 元 北海道大学大学院 工学研究院 技術コンサルタント　工博　鈴木　啓三 | |
| ３．鋳造設備という視点から見た鋳型・砂管理技術 14:20～15:20  鋳物作りは、工業化の中で機械化・自動化が進められてきた。鋳物品質の確保のための鋳型・砂管理技術も鋳造設備技術と切り離すことはできない。鋳造設備の動向を踏まえながら、設備的視点からの鋳型・砂管理技術について概説する。 | |
| 新東工業㈱ 鋳造技術グループ　橋本　邦弘 | |
| ４．生型ラインにおける慢性不良の砂かみ欠陥対策技術 15:30～16:30  量産鋳物に適用される生型ラインでは、慢性的に砂かみ欠陥が発生している。この砂かみ欠陥を防止する技術を砂品質の面から、その対応方法のヒントを考える。 | |
| (公社)日本鋳造工学会 事務局長　佐藤　和則 | |
| ５．総合質疑 16:30～16:50 | |
| 司会　 (公社)日本鋳造工学会 事務局長　佐藤　和則  出席講師　全　員(予定) | |
| 令和3年8月26日(木) | |
| ６．水ガラスの特性と無機系鋳型の技術動向 13:00～14:00  水ガラスを粘結剤とするCO2鋳型や無機自硬性鋳型の粘結力は水ガラスのゲル化により発現する。本講義では水ガラスの硬化(ゲル化)反応の基礎と鋳型強度の関連を説明し、無機系鋳型の技術動向を解説する。 | |
| 関西大学 化学生命工学部化学・物質工学科 教授　工博　丸山　徹 | |
| ７．中子造型技術と砂 14:10～15:10  １） 特殊鋳型について ２） 中子に要求される砂と品質 ３） 中子プロセスの特徴 ＊熱硬化性鋳型  ＊ガス硬化性鋳型 ＊自硬性鋳型 ４）最近の中子プロセスについて | |
| (一社)日本鋳造協会 技術顧問　鈴木　伸二 | |
| ８．砂・鋳型に関わる欠陥 15:20～16:20  砂・鋳型に関わる欠陥は数多い。そこで、事例をケーススタディとして取り上げる。粒度管理と物理的焼付き欠陥並びにブローホール欠陥、耐火度管理と化学的焼付き欠陥並びに砂かみ欠陥、などの事例である。 | |
| ㈱ツチヨシ産業 技術担当取締役　工博　黒川　豊 | |
| ９．総合質疑 16:20～16:40 | |
| 司会 (公社)日本鋳造工学会 事務局長　佐藤　和則  出席講師　全　員(予定) | |
| ＊　状況によっては、プログラムの変更、開催を中止させていただく場合がございますので、ご了承ください。 |

●**参加要領**

|  |
| --- |
| **◇**定　　員　80名　　（申込順に受け付け、定員になり次第締め切ります） |
| **◇**参 加 費　22,000円　(消費税込み)　 講師の資料を郵送いたします  素形材センター特別賛助会員、一般賛助会員は、50％割引。  協賛会員の方へ：協賛会員の特典にセミナー・研修の割引はありません。ご理解をお願いいたします。 |
| **◇**申込方法  下記申込書に所要事項記入の上, E-mailでお申込み下さい。  〒105-0011　東京都港区芝公園3丁目5番8号　機械振興会館3階301号室  一般財団法人　素形材センター　企画部  E-mail [kensyu@sokeizai.or.jp](mailto:kensyu@sokeizai.or.jp)　電話03(3434)3907 FAX03(3434)3698 |
| **◇**参加費のお支払い  参加申込後，請求書を郵送いたします。  (領収書を必要とする場合は、申込書にその旨をご記入下さい。振込手数料はご負担願います。) |
| **◇**申込締切　令和3年8月18日（水） |
| ◇注意事項  ・Cisco Webex Meetingsを使用したオンラインセミナーです。セミナー参加のために、パソコンやタブレットなどの端末と、インターネット環境、メールアドレスが必要です。また、通信費は参加者負担になります。  ・カメラ、マイク、スピーカーを備えたパソコンでの参加を推奨しています。  **・セミナーの録音・録画等や、本セミナーのコンテンツ（セミナー参加のURL、パスワード等）を外部に流出させる行為は、固くお断りいたします。**  **・1名様につき１つのお申し込みとしてください。１社で複数名様がご参加の場合、それぞれお申込みください。**  ・映像や音声が乱れる場合がございます。ご了承ください。  ・参加者ご自身の機材に関するトラブル等のお問合せには、事務局は対応いたしかねます。  ※その他注意事項につきましては、参加申し込み後にお送りするメールに記載させていただきます。 |

個人情報保護法に関する対応

ご記入頂いた個人情報は、本セミナーの事務に利用するとともに、参加者リストを作成し、講師に手交します。また、素形材センターの行う各種研修、セミナー、出版物、事業の案内状の送付に利用する予定です。今後、素形材センターが行う素形材産業の実情に関する調査アンケートへの協力依頼を行う場合もあります。

申込書

素形材センター企画部 E-mail kensyu@sokeizai.or.jp

オンライン素形材技術セミナー

「鋳型・鋳物砂の今（現状とこれから）」

～鋳型・鋳物砂の現状とこれからの鋳型の方向性を考える～

申込日　　令和　年　　月　　日

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 会社名 |  | |
| 住　所 | 〒 | |
| 電話番号 |  | 所属区分該当に○印をつけて下さい   1. 素形材センター特別賛助会員 2. 素形材センター一般賛助会員 3. 上記いずれも該当せず   (素形材センター協賛会員含む) |
| E-mail |  |
| 受講者氏名 | ふりがな | |
|  | |
| 所属・役職 |  | |
| 備　　考 |  | |

＊メールマガジン □購読希望

素形材センターメールマガジン購読をご希望の方はチェックを入れてください。

定期的に、事業の最新情報、募集案内、イベント情報、その他、官庁関連情報、業界情報などを無料で配信しています。